

ビオ Bio通信

向陽小学校のビオトープを考える会



虫メガネで覗いてみたら…

日が短い冬に葉を落とす落葉樹

分厚い葉っぱで冬を乗り切る常緑樹

近づいて木の枝をよく見ると

花のつぼみや葉の赤ちゃんが

ギューツと詰まった「冬芽」

葉がとれた痕の「葉痕」

そして葉痕の中に

「維管束」という

栄養や水をやりとりしていた痕

フレンズランドで

春の準備をしている木の暮らしを

観察してみましよう

「冬芽」と「葉痕」

じっと見ていると

なんだか愉快的な木の話し声が

聞こえてくるようです

ふゆめ 冬芽

ようこん 葉痕

いかんそく 維管束



- P.2 まだ、寒い冬だけど…
- P.3 楽しかったね 収穫祭
観察日誌が始まりました
鎮守の森から
- P.4 いきなりクイ〜ズ
草地ミニ実験!
自然環境保全活動って…
編集後記

まだ、寒い冬だけど・・・

文・向陽小学校のビオトープを考える会

神松 幸弘

生きものたちも

春を待っている

寒くて静かな冬。朝早く外に出ると、鼻がツーンとなるほど冷たい空気に包まれています。白い息をはきながらフレンズランドの池をのぞけば、うっすらと氷がはっています。地面には、しもばしらができていて、くつでふむと、ざくざくと気持ちのよい音がします。冬のビオトープはなんだか寂しげです。夏にはたくさんの生きものたちがいたのに、いったい、どこへいったしまったのでしょうか。じつは、ちゃんとそこにいますよ。

じいっと動かずに、静かにしているけれど、生きものたちはみんなそれぞれ春が来るのを待っているのです。



ギンヤンマ

水底にひそむ忍者たち

池の底の泥をふとんのようにかぶってかくれているのは、トンボの幼虫のヤゴたちです。冬のフレンズランドで見ることが出来るおもしろな種は、シオカラトンボとギンヤンマです。ヤゴは水が冷たい冬の間は成長せず、エサもほとんど

食べません。春になり、水が温かくなると成長し、やがて羽化してトンボになります。また、アキアカネなどアカトンボのなかまは、冬の間は卵で過ごし、春に生まれ、ヤゴになります。

春を待つ木々

木にも注意をむけて見ましょう。冬に葉を落とす落葉樹は、冬芽をつけて春を待っています。冬芽は、葉や花のもとになる小さな芽のことです。冬芽の形やつくりは木によって、じつにさまざまです。たとえば、ハナミズキの冬芽は、丸くて、先のとんがった、にんにくのような形をした芽をつけます。小さな冬芽が並んだ様子はとてもかわいらしいですよ。その他にもサクラやミツバツツジなど花が咲く前の様子を観察しておくと、春に花が咲くのがとても楽しみになります。

みなさんも、フレンズランドにでかけて、静かにくらす冬の生きものたちをみつけてみてください。きっと他にもたくさん発見が待っているでしょう。



ヤマコウバシ



ミツバツツジ



ヤマザクラ



ハナミズキ

たのしかったね

12月10日 収穫祭



みんなでフレンズランドのあゆみをふり返りました



お米になった黒米です*



かり取った稲わらでしめ縄に挑戦!



収穫祭のメインイベント
「黒米の餅つき」です



かお香りがあっておいし〜い

《 とうよう「たけのご隊」のみなさんありがとうございました 》

観察日誌が始まりました

今年の4月で移転して1年目を迎えるフレンズランド。できたてホヤホヤのビオトープにはシオカラトンボやギンヤンマ、アメンボウ、マツモムシにヌマガエルもやって来ました。2年目のビオトープにはどんな生きものと出会えるのでしょうか：そこで観察日誌を付けてみることにしました。日誌は水の

管理をしている今の環境委員5年1組の皆さんです。毎日観察するビオトープ、観察結果からどんなことを発見するのでしょうか。楽しみにしていますよ〜♪



鎮守の森から

向日神社のある山を「勝山」とも「向日山」ともいいます。勝山といわれ出したのは400年ほど前からですが向日山とはずうっと昔からいわれてきました。縄文時代から人々は淀川を上り、木津川、宇治川を下って京都盆地にやってきました。合流地点から見たのが、向日丘陵の南端の向日山で、一説には「むこうにあるやま」から「向日山」といわれるようになったそうです。

2月になると鎮守の森にヤブツバキの花が咲きます。梅や桜が春を代表する花ですが、木偏に春と書く「椿」は春を招く花です。ヤブツバキは野生種でフレンズランドにもありますが、園芸種の椿は街中のあちらこちらで見かけます。

ヤブツバキの実から椿油がとれ、整髪料や食用、機械の潤滑油、木材のつや出しなどに使われましたし、枝葉を燃やして作った灰は染料の色止めに使われました。花を見ると子どもの頃、椿の実から中身を取り出して笛にして遊んだ記憶が甦ります。唇にあてて息を吹きかけるとピーという高い音がしました。

文/写真 上田 昌弘



愛宕山と向日山を臨む



ヤブツバキのタネ

ヤブツバキ

いきなりクイズ



こたえがわかったら
応募しよう！

フレンズランドの水辺にある小さな木
この冬芽はなんの木？

- ☆ヒント
- ・赤い冬芽の帽子がとれると、銀色のフワフワのシッポのような花芽になる。
- ・フレンズランドにこたえがあるよ！

*正解は次の号でね☆

◎応募について

名前、学年、連絡先と2号 / 答え○○○○○を紙に書き
(書式自由) 職員室前「フレンズランドポスト」へ投函して
ください。正解者の中から3名に鎮守の森の会上田雅二さん
特製「ふらトンボ」をプレゼント！ 応募してね♡

★当選発表

創刊号・11月の答え >>> ルリタテハ

応募数：9名

当選者：5年 佐々木友希さん、3年 はぎわらりんさん、
1年 えんどう そういちろうさん

おめでとう～！

自然環境保全活動って...

地球上には1300～1400万種の生きものが暮らしていると考えられていますが、人間が発見した種は175万種ほどにすぎません。そのうち11,167種は絶滅の危機にあるそうです*。

もし、地球上から今よりたくさんの生きものが消えてしまったら... 人間だって生きていけなくなるかもしれません。食べものも酸素に満ちた空気も、他の生きものからの恵みだからです。自然環境を守ってもお金持ちになれないかもしれませんが、地球上に生きるためにとても大切なことなのです。そこで、世界で活動している2大自然保護団体をちょこっと紹介したいと思います。

活動をすると環境問題が見えてくる！

*2002年 IUCN 調べ



・国際自然保護連合 (IUCN)

国や各国の政府機関も加盟している自然保護団体。絶滅の恐れのある野生生物のリストを世界で最初に作りました。世界遺産の調査や環境教育、野生生物取り引きに関する条約など、自然保護で世界標準の役割りを果たしています。

- ★ IUCN ホームページ >>> <http://www.iucn.jp/home.html>
- ★ IUCN キッズページ >>> <http://iucn.jp/kids/index.html>

・世界自然保護基金 (WWF)

世界最大規模の自然環境保全の民間組織。パンダマークの募金箱は日本でもおなじみです。野生生物の保護で日本の考えと対立するところもありますが、生物多様性、温暖化やゴミ問題、災害復興支援などなど、民間らしいいち早い取り組みと資金援助で環境保全に大きな影響を与える団体です。

WWF ホームページ >>> <http://www.wwf.or.jp>

スミレにツクシ、タンポポはえないかなあ～

★草地ミニ実験

校庭から田んぼに登る斜面の芝生の一部を短く刈り込みました。刈り込んだ理由は、お日さまが地面にたくさん射し込む短い丈の草地と、芝が長く茂っている草地では、植物ややってくる生きものに違いがでてくるのか、観察してみようという実験です。

名づけて「フレンズランドの草地ミニ実験！」はて?? どうなる... 楽しみです (^-^)/



★編集後記

この冬の寒さは北極海の気温が高いために大陸に寒気が流れ込んでいるからとか。そのためなのか、今年は冬鳥として日本に渡る鳥が全国的に少ないそうです。梅のつぼみもなかなか開かないし、もしかしたら3月でも池が凍る朝があるかも... 地球の変化を感じ取るのは難しいですが、生きものの様子で変化を感じたり次の季節を思い描いたりすることができます。

近年、南方系の蝶の生息地が年々北上しています。それは

「温暖化」が原因だと言われていますが、寒くて長いこの冬は「ナガサキアゲハ」「ツマグロヒョウモン」など南方系の蝶の北上を止めるのでしょうか。

梅に桜の香り、蝉の声、モミジの色、木の実、落ち葉の音など、身近な自然から今年は何なることを思うのでしょうか...

☆Bio通信に関するお問合わせ、ご意見ご感想などございましたらフレンズランドポストへお寄せください。

発行 向陽小学校のビオトープを考える会
HP : <http://koharusya.jp/biotope>
2012.02 編集 / 玉井 啓子